

北九州埠頭株式会社

北九州埠頭株式会社

I 法人の概要（平成 30 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市門司区本町 2 番 10 号 サンリヤン門司港 2F

2 設立年月日

昭和 32 年 10 月 30 日

3 代表者

代表取締役社長 橋本 哲治

4 資本金

10,000 千円

5 北九州市の出資金

5,120 千円（出資の割合 51.2%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	1 人	6 人
常 勤	2 人	0 人	1 人	1 人
非常勤	5 人	0 人	0 人	5 人
職 員	41 人	0 人	2 人	39 人

7 市からのミッション

- ① ガントリークレーン等の港湾施設のメンテナンス業務について、ノウハウの蓄積や人材の育成を行いながら、市に替わって実務を担うことで、港湾施設の 24 時間 365 日の安定稼働を実現し、信頼性の高い港湾運営に貢献する。
- ② 第 3 セクターの強みを活かし、国の制度に基づいた埠頭運営の効率化に向けて、中心的な役割(人材育成など)を担っていく。
- ③ これまで培ってきた高度なメンテナンス技術を活かし、地場企業の不得意分野に対する技術協力を推進し、地域産業の振興、競争力強化に貢献する。

II 平成 29 年度事業実績

北九州埠頭株式会社は、北九州港の効率的な運営を図り、その機能を最高に発揮させることを目的として、各種港湾施設の管理運営、維持管理業務等の事業を行っている。

平成 29 年度の業績概要は、総収入 424,785,263 円、総支出 397,369,328 円、税引前当期純利益 27,415,935 円となった。

1 受託事業について

平成 29 年度は、

- ・港湾施設性能維持外業務
- ・港湾施設管理運営業務

を北九州市から受託して実施した。

本市の指導の下、業務の円滑な遂行と港湾施設の効率的な運営、安全性の確保、港湾利用者の利便性の向上に努めながら、業務を遂行した。

2 自主事業について

平成 29 年度は、

- ・新門司マリーナ施設運営業務
- ・田野浦特定埠頭運営業務
- ・船舶給水販売業務
- ・リサイクルポート施設運営業務
- ・若松月極駐車場業務

等を実施した。

主要自主事業の概況は次のとおり。

【新門司マリーナ施設運営業務】

当施設の収支向上を図るため、平成 22 年度から入会時の契約保証金の無料化、新料金制度の導入等を実施し、艇置隻数の増加策を講じてきた。

平成 29 年度は、舟艇の保管料が前期比約 1 %の減収、ビジター利用料や上下架施設の施設利用料収入が約 8.9%の増収、(株)ギラヴァンツ北九州等のクラブハウス賃貸によるテナント収入が約 3.8%の増収となっており、事業全体で約 1 %の増収となった。

【田野浦特定埠頭運営業務】

平成 22 年度から、岸壁と荷さばき地とを一体的に効率よく利用できる料金設定を行い、利便性の向上を図ってきた。

平成 29 年度は、前年度同様、大型船の係留はできないままであるが、一時係留の船舶の数が増加したことから、事業全体で約 1.2%の増収となった。

【船舶給水販売業務】

田野浦 1 号岸壁～8 号岸壁への接岸船舶を対象に、給水販売を行った。

平成 29 年度は、着岸する船舶が微増及び大型化したことにより、給水量が増加したため、37%の増収となった。

【若松月極駐車場業務】

平成 23 年度から、料金の見直しや駐車場舗装路面の整備等を行い、契約台数の拡大を図ってきた。

平成 29 年度の契約台数実績は、125 台であった。年間平均稼働率が 91%から 89%に減少した

結果、収入は約 1.2%の減収となった。当面は周辺駐車場との競合等から、施設改修による大幅な収入増加を図ることは難しく、横ばい状態が続くものと見込まれる。

3 部門別収入実績

事業別	部門別	収入	収入比率
受託事業	港湾施設性能維持外業務	246,765,003 円	58.09%
	港湾施設管理運営業務	84,190,008 円	19.82%
	合 計	330,955,011 円	
自主事業	新門司マリーナ施設運営業務	46,970,076 円	11.06%
	リサイクルポート施設運営業務	769,953 円	0.18%
	田野浦特定埠頭運営業務	22,925,037 円	5.40%
	船舶給水販売業務	8,078,516 円	1.90%
	若松月極駐車場業務	6,884,571 円	1.62%
	その他業務	6,832,500 円	1.61%
	経営委任施設管理運営業務	103,815 円	0.02%
	合 計	92,564,468 円	
営業収入合計		423,519,479 円	
営業外収益他		1,265,784 円	0.30%
総 合 計		424,785,263 円	100.00%

Ⅲ 平成29年度決算

1 貸借対照表（総括表）

平成30年3月31日現在（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
1 流動資産	386,739,083	1 流動負債	62,231,726
現金及び預金	331,436,890	未払金	17,779,161
未収金	41,983,016	前受金	20,065,061
貯蔵品	12,688,550	預り金	1,842,404
前払費用	630,627	賞与引当金	7,110,000
		未払消費税等	5,350,100
2 固定資産	103,741,409	未払法人税等	6,749,000
(有形固定資産)	99,565,193	一年以内返済	3,336,000
建物	124,356,826	長期借入金	
建物付属設備	32,357,707		
構築物	18,406,923	2 固定負債	76,556,385
車両運搬具	30,760,674	長期借入金	7,188,000
工具・器具・備品	24,294,844	退職給付引当金	69,368,385
リサイクルポート施設	47,600,000		
田野浦特定埠頭施設	51,300,952		
減価償却累計額	▲229,512,733	負債の部合計	138,788,111
		（純資産の部）	
(無形固定資産)	1,067,034	1 株主資本	351,692,381
電話加入権	62,000	(資本金)	10,000,000
ソフトウェア	1,005,034	(利益剰余金)	342,092,381
		利益準備金	2,500,000
(投資その他の資産)	3,109,182	繰越利益剰余金	339,592,381
敷金	2,323,120	(自己株式)	▲400,000
預託金	142,450		
長期前払費用	643,612	純資産の部合計	351,692,381
資産の部合計	490,480,492	負債及び純資産の部合計	490,480,492

2 損益計算書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
(営業損益の部)		
1 純売上高		
港湾施設性能維持外業務受託料	246,765,003	
港湾施設管理運營業務受託料	84,190,008	
燐鉱石業務収入	103,815	
船舶給水収入	8,078,516	
駐車場収入	6,884,571	
マリーナ保管料	30,531,869	
マリーナテナント料	12,697,369	
マリーナ施設利用料	3,740,838	
田野浦特定埠頭施設収入	22,925,037	
リサイクルポート施設料	769,953	
その他業務収入	6,832,500	423,519,479
2 売上原価	116,045,797	116,045,797
3 販売費及び一般管理費	280,482,692	280,482,692
営 業 利 益		26,990,990
(営業外損益の部)		
3 営業外収益		
受取利息	1,680	
雑収入	1,264,104	1,265,784
4 営業外費用		
支払利息	206,157	
雑 損	168,175	374,332
経 常 利 益		27,882,442
(特別損益の部)		
1 特別損失		
固定資産除却損	466,507	466,507
税 引 前 当 期 純 利 益		27,415,935
法人税・住民税及び事業税		11,082,800
当 期 純 利 益		16,333,135

IV 平成30年度事業計画

1 指定管理業務

指定管理業務等の実施にあたり、多岐に亘る施設・業務に関し、長期的視点に立った効率的な管理運営を実施するとともに、管理運營業務における改善の提案を積極的に行う等、港湾利用者の立場に立った利便性の向上を図るため、下記の基本方針を定め、推進する。

- これまで培った経験やノウハウ・高い技術力を業務に活かすことにより、経費の削減に努めるとともに、利用者の立場に立った安全・確実・迅速なサービスを提供する。
- 各埠頭の現状、多種多様な港湾施設の設置目的や特徴及び利用実態などを踏まえて、施設の有効活用に努める。
- 人材の育成を強化するとともに、施設利用に係るマニュアル化を推進することで、効率的で質の高い管理運営と施設の平等利用に努める。
- 日常の事故防止に向けて、安全対策を徹底する。
- 電気機械設備の予防安全や災害時の復旧対策等を充実することにより港湾物流の定時性を確保できる安全安心な港づくりを目指す。
- 関係諸法令を遵守するとともに、高い倫理観を持った職員を育てることで、個人情報の適切な管理など、コンプライアンスの徹底に努める。

2 自主事業

今期、自主事業の拡大に務めた結果、昨年に引き続き市内13ヶ所のトンネル設備点検や、大分、小野田のクレーンの設備補修、クレーンメーカーの依頼により京都舞鶴港のガントリークレーンの年次点検等を実施した。

これまで市から受託していた業務が指定管理者制度へ移行するにあたり、経費の削減、サービスの向上等、更なる企業努力が必要であり、安定した経営基盤を維持していくために、自主事業の拡大や組織体制、業務執行体制の強化を図る。

また、限られた要員で、様々なケースに即応していく体制を維持するためには、優秀な職員の育成は勿論、協力会社との連携等、体制の強化が必要不可欠であるため、主に以下の取組みを推進する。

- 複数の協力会社との連携により、技術レベルの平準化を図り、様々な状況に即応できる体制の構築に取り組む。
- 新入職員や若手職員に対して専門講師による教育プログラムを施し、早期戦力化を図る。また、優秀な人材の育成を行うために必要なOJTによる教育プログラムの強化や、専門機関での知識習得に向けたOFF-JTを更に強化し、更に高いレベルで業務を遂行できるよう、技術レベルの向上に取り組む。

3 主要な事業内容（平成30年6月1日現在）

事業別	部門別	業務内容
受託事業	指定管理者業務	門司地区における港湾施設管理運営業務（国有港湾施設・港湾保安対策施設は除く）
	港湾施設管理運営業務	太刀浦クレーン等維持管理業務
		夜間入港準備作業及び立会業務
		新門司マリーナ施設維持管理業務
		太刀浦・白野江トンネル施設保守業務
		浅野可動橋維持管理業務
		ソーラス条約による港湾保安対策用電気設備の保守点検業務
		港湾施設の巡回・監視及び施設の使用許可、収入調定等に関する業務（小倉・洞海地区）
自主事業	経営委任施設管理運営業務	田野浦埠頭における燐鉱石揚積に関する業務
	船舶給水販売業務	船舶で使用する水道水の販売 （北九州市上下水道局許可事業）
	若松月極駐車場業務	月極の賃貸駐車場
	新門司マリーナ施設運営業務	プレジャーボート、ヨットの艇置保管及び管理運営、クラブハウスのテナント賃貸
	リサイクルポート施設運営業務	循環資源取扱荷さばき地の管理運営
	田野浦特定埠頭運営業務	荷さばき地及び前面の岸壁を一体的に管理運営する特定埠頭事業

	その他業務	業者等の依頼による技術助勢及び運転助勢業務、トンネル設備点検・補修業務等
--	-------	--------------------------------------

V 平成 30 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額	
(営業損益の部)		
1 営業収益		
指定管理業務収入	443,175	
港湾施設性能維持外業務受託料	0	
港湾施設管理運営業務受託料	66,500	
燐鉱石業務収入	180	
船舶給水収入	8,000	
駐車場収入	6,880	
マリーナ保管料	30,530	
マリーナテナント料	12,700	
マリーナ施設利用料	3,740	
リサイクルポート施設収入	649	
田野浦特定埠頭施設収入	22,926	
その他業務収入	8,210	603,490
2 売上原価	292,322	292,322
3 一般管理費	297,644	297,644
営 業 利 益		13,524
(営業外損益の部)		
1 営業外収益		
受取利息	5	
雑収入	633	638
2 営業外費用		
支払利息	148	148
経 常 利 益		14,014
3 特別損失	0	
税 引 前 当 期 純 利 益		14,014

Ⅵ 役員名簿等

1 役員名簿

平成 30 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	橋本 哲治	北九州埠頭株式会社
取締役	木本 仁	北九州市港湾空港局長
〃	要 秀和	太平洋セメント株式会社 九州支店 セメント営業部 部長
〃	齋藤 哲郎	三菱マテリアル株式会社 九州工場 事務部 部長
〃	真弓 真一	北九州埠頭株式会社 統括部長
監査役	鈴木 功	太平洋セメント株式会社 九州支店 業務部長
〃	兵働 楨三	小野田化学工業株式会社 門司工場長

2 市との特命随意契約の状況（平成 29 年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
北九州市港湾施設性能維持外業務委託	266,506	24時間対応が求められるガントリークレーン等の港湾施設の突発的故障・事故に対応できる業者は1社しかないため	ガントリークレーン年次・性能点検技術助勢業務委託	2,981	JFE プラントエンジニア㈱	随意契約 (特命)	当該クレーンのメーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められるため、他への委託が不可能であるため。
			ガントリークレーン年次・性能点検技術助勢業務委託	432	IHI 運搬機械㈱	随意契約 (特命)	当該クレーンのメーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められるため、他への委託が不可能であるため。
			ガントリークレーン等の電気品点検業務委託	1,340	安川シーメンスオートメーション・ドライブ㈱	随意契約 (特命)	クレーン等で使用している電気品のメーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められるため、他への委託が不可能であるため。
			ガントリークレーン非破壊検査業務委託	302	東亜非破壊検査㈱	指名競争 入札	
			太刀浦第1受電所保護継電器試験外業務委託	270	満井電気計測㈱	指名競争 入札	

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			ガントリークレーン年次・性能点検助勢業務委託	970	(株)仙容	指名競争入札	
			ガントリークレーン等の補修塗装業務委託	1,858	興栄産業(株)	指名競争入札	
			ガントリークレーン等機械修繕補助業務委託	1,890	成和工業(有)	指名競争入札	
			ガントリークレーン等電気修繕補助業務委託	1,555	(株)野村	指名競争入札	
			太刀浦7号ガントリークレーン用エレベータ外点検業務委託	261	サノヤス建機(株)	随意契約(特命)	当該エレベータのメーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められるため、他への委託が不可能であるため。
			太刀浦9号ガントリークレーン用エレベータ点検業務委託	238	(株)カイナン	随意契約(特命)	当該エレベータのメーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められるため、他への委託が不可能であるため。
			太刀浦6号上屋垂直搬送機の一部点検業務委託	124	ファインテック(株)	随意契約(特命)	当該垂直搬送機のメーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められるため、他への委託が不可能であるため。
			太刀浦6号上屋垂直搬送機の一部点検業務委託	216	オムニテック(株)	随意契約(特命)	当該垂直搬送機のメーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められるため、他への委託が不可能であるため。
			太刀浦6号上屋ドックレベラー外一部点検業務委託	933	(株)西工業	指名競争入札	
			太刀浦6号上屋エレベータ遠隔監視付保守点検業務委託	2,022	東芝エレベータ(株)	随意契約(特命)	当該エレベータのメーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められるため、他への委託が不可能であるため。
			太刀浦トンネル環境測定装置保守点検業務委託	1,296	福岡酸素(株)	指名競争入札	

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			新門司(4号)可 動橋ディーゼル エンジン発電機 点検業務委託	54	機電サー ビス	随意契約 (特命)	当該発電機のメーカー 指定サービス工場であり、 専門的知識や品質保証が 求められかつ、県内に 出張修理を行う業者が 他にないため他に委託 が不可能
			太刀浦10号ガ ントリークレー ン用エレベータ 点検業務委託	475	米山工業 株	随意契約 (特命)	当該エレベータのメ ーカーであり、同機器 に関する専門的知識や 品質保証が求められる ため、他への委託が不 可能であるため。
			ガントリーク レーンワイヤー ロープ取替助勢 外業務委託	4,409	株K I M	指名競争 入札	
			太刀浦第1CT 冷凍コンセント 盤補修業務	1,890	森岡電気 株	指名競争 入札	
			太刀浦第2CT 冷凍コンセント 盤ソケット補修 業務	1,523	永見電気 商会	指名競争 入札	
			太刀浦5号ク レーン横行レール ヒンジブ調査業 務	324	株上組 八幡支店	指名競争 入札	
			太刀浦10号ク レーンエレベータ ケージ換気扇取 付業務	324	米山工業 株	随意契約 (特命)	当該エレベータのメ ーカーであり、同機器 に関する専門的知識や 品質保証が求められる ため、他への委託が不 可能であるため。
			太刀浦4号ク レーン起伏止め 装置取替業務	798	株加藤工 業	指名競争 入札	
			太刀浦7号ク レーン電気室空調 機取替業務	778	株菅沼空 調サービ ス	指名競争 入札	
			太刀浦9号ク レーン走行減速機 整備業務	940	株西工業	指名競争 入札	
			太刀浦7号ク レーン運転室空調 機補修業務	37	株菅沼空 調サービ ス	随意契約 (特命)	運転室空調機の不具合 により、緊急補修が必 要になったことから、 即応可能な業者に特命 した。
			太刀浦6号ク レーン横行シーブ 外取替業務	1,963	株西村鉄 工所	指名競争 入札	

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			太刀浦8号クレーン運転室空調機補修業務	146	(有)菅沼空調サービス	随意契約 (特命)	運転室空調機の不具合により、緊急補修が必要になったことから、即応可能な業者に特命した。
			太刀浦9号クレーンレールクランプ油圧シリンダ取替業務	1,998	IHI 運搬機械(株)	随意契約 (特命)	当該クレーンのメーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められるため、他への委託が不可能であるため。
			西海岸可動橋接合ボルト取替業務	207	成和工業(有)	指名競争 入札	
			太刀浦5号クレーン点検歩廊補修業務	1,094	(株)仙容	指名競争 入札	
			新門司マリーナ浮き棧橋床板修繕業務	1,382	(株)宮前工務店	指名競争 入札	
			太刀浦4号クレーン運転室空調機取替業務	159	(有)菅沼空調サービス	随意契約 (特命)	運転室空調機の不具合により、緊急補修が必要になったことから、即応可能な業者に特命した。
			太刀浦8号クレーン横行緊張シリンダ取替業務	812	濱田重工(株)八幡支店	指名競争 入札	
			新門司第4可動橋非常用発電機外部排気管設置業務	394	機電サービス	指名競争 入札	
			太刀浦6号上屋No.4垂直搬送機昇降用吊チェーン外取替業務	1,446	オムニテック(株)	随意契約 (特命)	当該垂直搬送機のメーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められるため、他への委託が不可能であるため。
			太刀浦7号クレーン巻上ブレーキ取替業務	1,726	JFE プラントエンジ(株)	随意契約 (特命)	当該クレーンのメーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められるため、他への委託が不可能であるため。
			新門司第1可動橋作動油取替業務	1,237	成和工業(有)	指名競争 入札	
			太刀浦10号クレーン横行シーブ取替業務(緊急)	119	(株)ヤマダ	随意契約 (特命)	横行シーブの不具合により、緊急補修が必要になったことから、即応可能な業者に特命した。

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			太刀浦 10 号クレーンエレベータ補修業務	1,998	米山工業(株)	随意契約(特命)	当該エレベータのメーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められるため、他への委託が不可能であるため。
			新門司マリーナ揚陸施設補修業務	365	(有)幸谷工業	指名競争入札	
			太刀浦 4 号クレーン横行緊張シリンダ外取替業務	464	(株)西村鉄工所	指名競争入札	
			太刀浦 8 号クレーン陸側レールクランプ油圧シリンダ外取替業務	486	成和工業(有)	指名競争入札	
北九州市港湾施設管理運営業務	90,925	公募を実施したものの、応募者が無く他に業務を履行できる業者がないため。	再委託なし				
合計	357,431		合計	44,236			

